

コミ1★15ラクガキ帳

18禁



——とあるトラブルで私達カルデアの面々は
旅館「閻魔亭」でお客様に二年分の満足と感謝を
得なければいけなくなりました…
私も仲居として働くことに……

「マッシュちゃん…
やっぱり可愛いねえ
さあ、こっちおいで♥」

このお客様は、以前女性の仲居さんを専属で
自分につけて二年分の『感謝』を二週間で得たそうです
そのあと仲居さんは姿を消したそうです……

「おっばいだけじゃなく
良いケツもしてるね」
「きゃっ！っ？や…やめなさいよ」

「一緒に呑んでくれたら触らないよ」
「お…お酒は…」
困ったお客様ですが…大事なお客様らしく
逆らわないように言われているので
飲むフリだけでも……

「あれ？わたし：：お酒の匂いを嗅がされて：：
んぶつりな：何をしてゐてひゆか!!」
「お、目が覚めたか：：
普通の女じゃあないというのは本当らしいな
この催淫酒飲んで意識があるとは
：さつきまでキモチ良さそうに吸い付いてたのにな」

「催：淫：？ふぐらっ♡」
「ワシが作った特別な酒だ：魔術だの魔力だの
関係ない：ただただ強力な催眠薬……
効能は三日しか持たんがワシの言うことに逆らえず
絶頂すればする程、ワシを好きになり
ワシ好みの体と精神になる：中々のモンだろう？
ほれ♡感度も上がってもうグチョコグチョコだ♡」

「それより続きた：舌を動かして
ワシの涎をねだれ、マシユ♡」
「あ：はひつ：♡ふひい♡」

嘘：本当に言いなりに：
まるで令呪に
縛られたサーヴァントみたいだ
ダメ：こんな人と下品なキス
助けて：先輩



「嫌とか言いつつ何度もイってるだろ!?
そんなペニスでイってたらワシ好みの
オゲレツなドスケベ女になるぞ
この牛乳女が!!」
「ひっ!?!ひぐらうん♡♡」



「ラン!?!どうだ?そこの若いもんには
負けんたる?!精力だけが自慢でな♡」
…この人…もう4時間はずつとやり続けて…
先輩ならこの10分の1も…
「ひぐらうん♡♡やめ…もう…嫌…です…ぶぐらうん♡♡」



「イツ…いつでなひっ♡」
嫌…最初は嫌だったのに
言ってたこと…本当…
嫌じゃなくなつて…



「彼氏の為か?耐えるとは
健気だが…質問に答える
…これは命令だ!!
本当はイってるんだらう?」
「ひっ!?!つてます!
お客様のテカチンポ
子宮口当たるだけで
軽イキしてまひゅ♡♡
お客様のチンポ好き♡♡
好きです♡もつとしてえ♡」
やめ…て…私…これ以上…
ねだらないで…壊れ…る」

「24時間…やっと解放…される
「ふう…出した出した…お前の愛液と
ワシの精液でビチョビチョだわ」
嘘…ですよね？まだ勃起してます…
「はあはあ…仕方…ない…ですわ
お客様…私のせいでもあるから…
キレイにします」

さっきまで感じていた嫌悪感…
なんだったんでしようか…
今、目の前にあるチンポが
愛おしくて…どうにかなりそう♡

「薬は切れて命令に縛られなくなったはずだが？
ぐっ♡上手そうにしゃぶるなあマシユ」
「うふえは…皆の為なんでふう…♡
お客様をもつと…もつと満足ひやへないとお…♡
んっ…この美味ひい♡もつと…もつと満足ひへください♡」
「ラフ…こんなスケベ女を提供してくれた
ココに感謝しなければね…フフフ♡」

んっ♡

ヨミ1☆15ラクガキ帳

最近
カルデアの皆が…
先輩が私を…
探している…
耳にした…

けれど
今の私は
一秒でも長く
満足して
貰わないと
いけない…
お客様…いえ…
新しい『先輩』に
…これも皆さん
『前の先輩』の
為だから…

「似合ってますか？ぶひっ♡お客…先輩っ♡」
「クク…ブタになる呪いを回避する為に働いて…結果ブタ耳つけてブタ真似するとは」
「ああん♡酷いですそんな言い方…これもカルデアの為なんですから」
「フフ…元先輩の話はしなくなっただな」
「それじゃあ朝のチンポ勃起体操始めますね♡」

「んほっ♡ふほっ♡ふんっ♡ふんっ♡」
「ああん先輩の勃起チンポ
見ながらエアセックスで
イキますっ♡潮吹きしますっ♡」

「うっ…マシユのスケベ汁は暖かくて
元気になるな…本当にドヘンタイな
下品女になって嬉しいぞ」
「ああ…♡違っつて言ってるじゃないですか…
これは全部…皆の為…私が悦んでシてる
訳じゃないんですから…」
「ほう…なら今日はおチンポお預けにして
フェラとパイズリだけにしておけかな」

んん

「ああ…そ…そんな事言わないでください！
お詫びの尻スリしますっ！耻ずかしいオナラも…
ぶんっ♥ぶんうっ♥」

んひっ

「クク…尻文字で
チンポ…か
いいだろうっ…」

ズビツ

んん

んん

「豚女…これからずつと
ワシが飼ってやるからな！
鳴け！俺好みの鳴き声で！」

「ぶひっ♥ぶひいい♥
尻叩きすぎい♥ぶひっ♥すくいくつ
屁…キあくめえ♥…飼ってくださいひゃい♥
ずつとこのチンポいれてくださいい♥
せんばいいい♥ぶひいいん♥」



ヨミ1☆15ラクガキ帳

「あ……ああ……♡ふひっ……♡んひっ♡」
「ふう……お前の姿を見てると年甲斐もなく張り切ってしまうな……明日には此処を発つ……お前もついてくるな?」
ワシの自宅でも四六時中犯してやるぞ」

この言葉を聞いて……
その時の私の頭には
他の事は思い浮かばなかった
カルデアのこと……
元先輩のことさえも……

ブ
ビ
ン

「イキますっ♡先輩のチンポケースになっで年中孕ませセツクスしてくださいっ♡」
私も……もつとスケベで下品な奴になりますから♡
誰にもお別れ言わず……すく……でもイキたい♡
イキたいですっ♡んひっ♡」

最低の言葉を吐いて最低の行為をする
自分に興奮して……またイッた……
もう……戻れないみたいです
ゴメンナサイ……センパイ……

えへへ

■おまけ(その後のお風呂)

ちゅ

んぼんぼん
お...♡♡♡

んぼんぼん♡♡♡

んぼんぼん♡♡♡
んぼんぼん♡♡♡

んぼん

んぼん♡♡♡
んぼん♡♡♡





あは...♡
ん...♡
♡♡♡

えへへ...♡
ニャー♡
ニャー♡
ニャー♡
♡♡♡

絶対はらませ
ていただきます♡

□奥付□

- 発行日 2019. 04. 29
- 誌名 コミ☆15ラックガキ帳
- 著者 武田弘光
- 発行 真珠貝
- 印刷 株式会社 緑陽社
- Email pearl_shell@wing.ocn.ne.jp
- TWITTER <https://twitter.com/shinjugai>